

第2 平成 23 年度 一般会計・特別会計歳入歳出決算のあらまし

1 全体の概要

(1) 歳入

歳入総額は、一般会計^注7,259 億円、特別会計^注1,286 億円で、合わせて 8,545 億円となり、借換債を除いた前年度の金額に比べ一般会計は、13 億円、0.2%増加、特別会計は、90 億円、7.5%増加しています。

(単位:億円)

区 分	予算現額(A)	歳入総額(B)	差(A-B)	(参考)		
				収入未済額注	不納欠損額注	
一般会計	22年度	7,486	7,246	239	95	4
	23年度	7,688	7,259	429	93	4
	増減額	203	13	190	△ 2	△ 0
	増減率	2.7%	0.2%	79.5%	△2.0%	△7.7%
特別会計	22年度	1,307	1,293	13	37	0
	23年度	1,294	1,286	7	38	0
	増減額	△ 13	△ 7	△ 6	1	△ 0
	増減率	△1.0%	△0.6%	△44.0%	1.8%	△90.8%
合 計	22年度	8,792	8,540	253	132	5
	23年度	8,982	8,545	437	131	4
	増減額	190	6	184	△ 1	△ 1
	増減率	2.2%	0.1%	73.0%	△1.0%	△12.5%

*それぞれの金額を四捨五入しているため、合計等が合わない場合があります。

【借換債除きベース】

(単位:億円)

区 分	予算現額(A)	歳入総額(B)	差(A-B)	(参考)		
				収入未済額注	不納欠損額注	
一般会計	22年度	7,486	7,246	239	95	4
	23年度	7,688	7,259	429	93	4
	増減額	203	13	190	△ 2	△ 0
	増減率	2.7%	0.2%	79.5%	△2.0%	△7.7%
特別会計	22年度	1,209	1,196	13	37	0
	23年度	1,294	1,286	7	38	0
	増減額	84	90	△ 6	1	△ 0
	増減率	7.0%	7.5%	△44.0%	1.8%	△90.8%
合 計	22年度	8,695	8,442	253	132	5
	23年度	8,982	8,545	437	131	4
	増減額	287	103	184	△ 1	△ 1
	増減率	3.3%	1.2%	73.0%	△1.0%	△12.5%

*22年度は、特別会計において 97 億円の借換債を発行しています。

23年度は、一般会計及び特別会計において借換債を発行していません。

(2) 歳 出

歳出総額は、一般会計 7,080 億円、特別会計 1,248 億円で、合わせて 8,327 億円となり、借換債を除いた前年度の金額に比べ一般会計は、41 億円、0.6%増加、特別会計は、90 億円、7.8%増加しています。

(単位:億円)

区 分	予算現額(A)	歳出総額(B)	差(A-B)	差(A-B)の内訳		
				翌年度繰越額	不 用 額	
一 般 会 計	22年度	7,486	7,038	447	368	79
	23年度	7,688	7,080	609	516	92
	増減額	203	41	161	148	14
	増減率	2.7%	0.6%	36.1%	40.1%	17.3%
特 別 会 計	22年度	1,307	1,255	52	32	19
	23年度	1,294	1,248	46	28	18
	増減額	△ 13	△ 8	△ 5	△ 4	△ 2
	増減率	△1.0%	△0.6%	△10.6%	△11.9%	△8.5%
合 計	22年度	8,792	8,293	499	401	98
	23年度	8,982	8,327	655	545	110
	増減額	190	34	156	144	12
	増減率	2.2%	0.4%	31.3%	36.0%	12.2%

*それぞれの金額を四捨五入しているため、合計等が合わない場合があります。

【借換債除きベース】

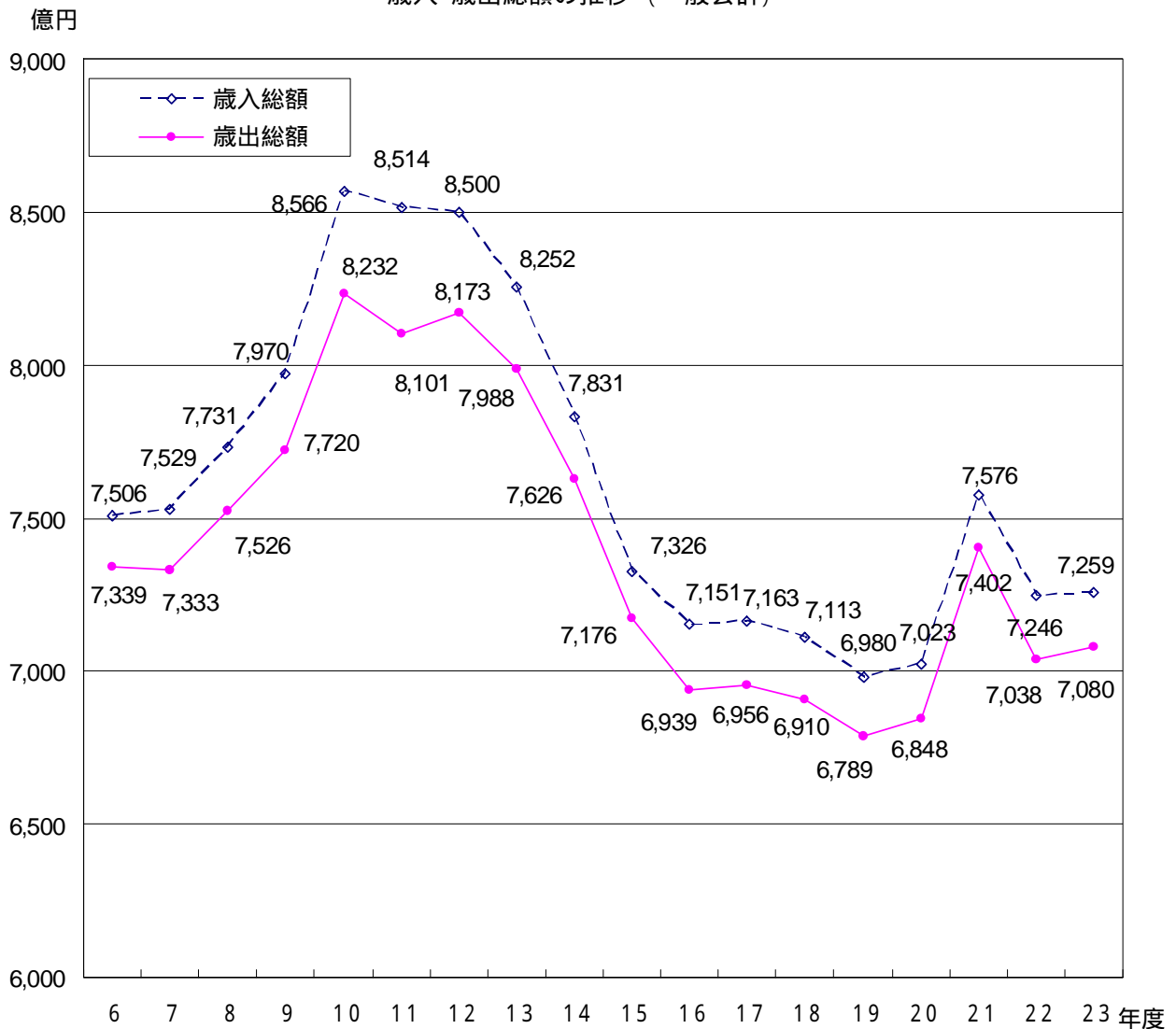
(単位:億円)

区 分	予算現額(A)	歳出総額(B)	差(A-B)	差(A-B)の内訳		
				翌年度繰越額	不 用 額	
一 般 会 計	22年度	7,486	7,038	447	368	79
	23年度	7,688	7,080	609	516	92
	増減額	203	41	161	148	14
	増減率	2.7%	0.6%	36.1%	40.1%	17.3%
特 別 会 計	22年度	1,209	1,158	52	32	19
	23年度	1,294	1,248	46	28	18
	増減額	84	90	△ 5	△ 4	△ 2
	増減率	7.0%	7.8%	△10.6%	△11.9%	△8.5%
合 計	22年度	8,695	8,196	499	401	98
	23年度	8,982	8,327	655	545	110
	増減額	287	131	156	144	12
	増減率	3.3%	1.6%	31.3%	36.0%	12.2%

*22年度は、特別会計において 97 億円の借換債を発行しています。

23年度は、一般会計及び特別会計において借換債を発行していません。

歳入・歳出総額の推移（一般会計）



国の緊急経済対策による公共事業等の事業量の増加に伴い、歳入総額 歳出総額は平成10年度～12年度にピークを迎えましたが、景気の低迷や三位一体改革による地方交付税などの財源圧縮、また、投資的経費の縮減などにより年々減少しました。平成20年度からは、国の景気対策等に伴い増加に転じましたが、平成22年度には国の雇用・経済対策に関する国庫支出金等が減少し、平成23年度は横ばいとなっています。

用語の説明

・一般会計、特別会計

一般会計とは、地方公共団体の会計の基本的なもので、下記の特別会計に属しないすべての歳入、歳出を経理する会計のこと。

特別会計とは、地方公共団体が特定の事業を行うにあたって、一般の歳入歳出と区分して経理する必要がある場合に、各団体の条例で別個に設置された会計のこと。

・収入未済額

地方公共団体が歳入を徴収しようとする際に、調定（予定される収入金額を決定する行為）を行ったにもかかわらず、出納閉鎖日までに収納されなかった金額。この収納未済金は翌年度に繰り越され、引き続き督促等を行い徴収に努めることとなる。

・不納欠損額

調定した歳入が、督促等を行ったにもかかわらず納付されずに時効が到来してしまったものなどについて、損失として処分を行った金額。